

◇ 模擬講義のテーマ ◇ 「消費税について」

◇ 《設問1》（模擬講義の要点整理）の解答例 ◇ ※下線部はキーワードの使用例

消費税とは、物品やサービスを購入・消費した時に課される間接税である。日本では、かつて、物品税、所得税等の直接税が中心であったが、消費行動の変化や納税負担の偏りを解決するため、また、社会保障の財源として、国民に広く薄く負担を求める消費税が創設された。消費税は、景気に左右されず安定財源となるが、景気に悪影響を与えること、低所得者ほど増税の影響は大きいことが懸念され、今後の消費税のあり方には議論がある。 （200字）

※キーワード

消費税、間接税／直接税、消費行動（への課税）、低所得者層、財政問題、
諸外国の消費税、応能負担原則、
消費税の逆進性（＝低所得者ほど増税の影響は大きいこと）

◇ 《設問2》の論題と評価の視点 ◇

〔論題〕

あなたは消費税を増税すべきだと思いますか、それとも減税すべきだと考えますか。結論を明らかにした上で、理由を複数あげ、600字以内でまとめなさい。

〔評価の視点〕

- ・概ね500字以上書かれており、増税か減税かの結論が示され、かつ複数の理由が説得的に示されている場合は、得点率80%を基準とします。
- ・概ね500文字以上書かれており、増税か減税かの結論が示され、その理由が概ね適切である場合には、得点率60%を基準とします。
- ・増税か減税かの結論・理由が明確に示されていない場合、得点率40%を基準とします。また500字に満たない場合も同様とします。
- ・増税か減税かの理由付けに明白な矛盾があるような場合（論理がつながらない場合）、得点率20%点を基準とします。
- ・行頭の文字下げや段落分けが不適切な箇所があったり、誤字・脱字があったりした場合は減点します。